

# アンカーボード W1/2 再使用に際しての注意事項

## 〔内部コーンねじ込み型〕

本製品を再使用する場合は、このチェックシート記載のチェック項目を確認し、適合するもののみを使用してください。

- 再使用の前に、この「再使用に際しての注意事項」をよくお読みの上、アンカーボード取扱説明書と同じ手順で正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
- 正しく使用しないと、状況によっては重大な事故に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載しているので、必ず守ってください。

## 各種点検

- 本製品を再使用する場合は、下記の内容に従い、毎回現品チェックや処置・保管をしてください。
- アンカーを撤去する際にアンカー本体が引っ掛かったりし、撤去しにくい場合は、そのアンカーは再使用せず廃棄してください。
- 使用中にアンカー自体に変形等の異常が発生している恐れがあります。
- 「アンカー撤去後」・「アンカー再使用前」に、裏面のチェックシートに基づき現品をチェックしてください。異常が見つかった場合は、再使用をせずに廃棄してください。

## ●アンカー撤去後

躯体から本製品を撤去した後は、速やかに裏面のチェックシートを使用し、再使用が可能か確認をしてください。

異常がある場合は、再使用できません。

- 汚れ(モルタル等の付着を含む)がないことを確認してください。
- ねじ部に付着した異物がないことを確認してください。
- アンカー本体と内部コーンに水分や、汚れがないことを確認してください。
- アンカー本体に内部コーンを仮締めして、内部コーンがスムーズに締付けできることを確認してください。引っかかりがある場合は、無理に締付けしないでください。

## ●アンカー再使用前

アンカーの再使用前に、裏面のチェックシートを使用し、再使用が可能か確認をしてください。

異常があった場合は、再使用できません。

- 汚れ(モルタル等の付着を含む)がないことを確認してください。
- ねじ部に付着した異物がないことを確認してください。
- アンカー本体と内部コーンに水分や、汚れがないことを確認してください。
- アンカー本体に内部コーンを仮締めして、内部コーンがスムーズに締付けできることを確認してください。引っかかりがある場合は、無理に締付けしないでください。

## ●再使用までの保管

- 乾燥した場所で保管してください。
- 軒先の雨がかかったり、湿気のある場所には保管しないでください。
- 温度が急変する場所、直射日光のあたる場所には保管しないでください。
- ホコリ等の異物や湿気の付着を防止するため、蓋の付いた容器で本製品を保管する事を推奨します。

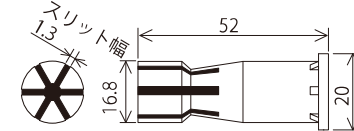
## ●再使用アンカーの施工

- 再使用施工は、アンカーボード取扱説明書と同じ手順で施工してください。
- 本製品を再使用される場合は、自己責任でご使用ください。このチェックシート記載のチェック項目は、本製品を再使用される方の参考に供するため、当社の想定可能な範囲で不具合の発生する可能性がある異常等を列挙したものです。チェック項目をすべて満足している場合であっても、当社は、本製品の再使用について一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

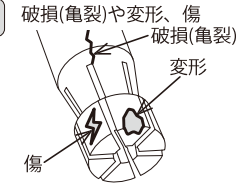
# 再使用に際してのチェックシート(撤去後/再使用前に実施)

## アンカー本体

右図の不具合例を参考にして、以下の項目についてチェックをしてください。異常が見つかった時は再使用をせず廃棄してください。

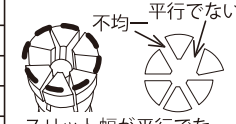


チェック項目	チェック
破損(亀裂)や変形、傷	
錆の発生	
ねじ部の破損や汚れ、異物の付着	
スリット部外径17.5mm以下	
スリットの異常(スリット幅が平行でなかったり不均一、等)	
供回り防止部の損傷や汚れ	
モルタルの付着	
水分の付着	

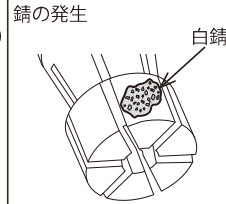


破損(亀裂)や変形、傷により、拡張時のバラツキが発生し、強度不足になる

スリットの異常



スリット幅が平行でなかったり不均一等で、コンクリート挿入時の抵抗となったり、拡張時のバラツキが発生し、強度不足になる



錆が発生し、アンカー設置・撤去時に不具合が発生する

供回り防止部の損傷や汚れ

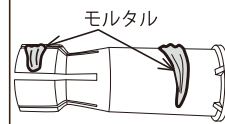


供回り防止部の損傷や汚れが原因で、アンカー設置・撤去時にアンカー本体が供回りする



ねじ部の破損や汚れ、異物の付着が原因で、内部コーンの挿入量が不足し、強度不足になる

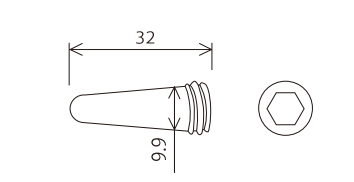
モルタルの付着



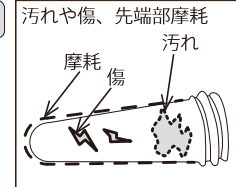
モルタルの付着により、コンクリートに挿入できなかったり拡張時のバラツキが発生し、強度不足になる

## 内部コーン

右図の不具合例を参考にして、以下の項目についてチェックをしてください。異常が見つかった時は再使用をせず廃棄してください。

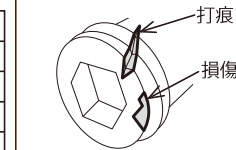


チェック項目	チェック
汚れや傷、先端部摩耗	
錆の発生	
ねじ部の汚れや異物の付着	
ねじ部の破損(打痕や損傷)	
六角穴の欠けや損傷(変形)	
モルタルの付着	
水分の付着	

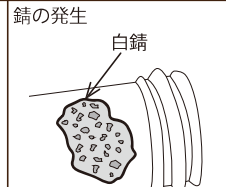


汚れや傷、先端部摩耗により、内部コーン締付け時の抵抗となり、締付け不良となる恐れがある

ねじ部の破損

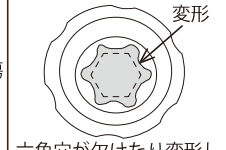


ねじ部の打痕や損傷により、内部コーン締付け時の抵抗となり、締付け不良となる恐れがある

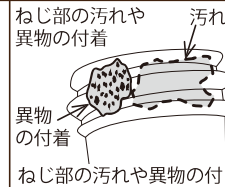


錆が発生し、アンカー設置・撤去時に不具合が発生する

六角穴の欠けや損傷(変形)

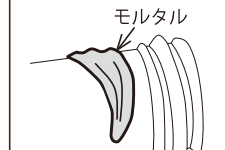


六角穴が欠けたり変形した状態で作業をすると、ビットがなめてしまい、アンカー設置・撤去時の不具合となる恐れがある



ねじ部の汚れや異物の付着により、内部コーン締付け時の抵抗となり、締付け不良となる恐れがある

モルタルの付着

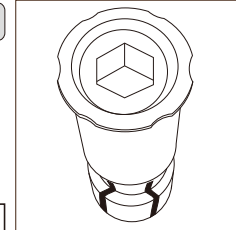


モルタルの付着により、内部コーン締付け時の抵抗となり、締付け不良となる恐れがある

## アンカー本体と内部コーン

右側の文章を参考にして、以下の項目についてチェックをしてください。異常が見つかった時は再使用をせず廃棄してください。

チェック項目	チェック
内部コーンがスムーズに締付けできる	



本製品はねじ製品です。錆や汚れ、傷などが原因でアンカー設置・撤去が困難になることがあります。内部コーンがスムーズに締付けできなければ、アンカー設置時に抵抗となり、拡張が不完全であるにも関わらず締付けトルク(30N・m)が増加したり、内部コーン挿入量が不足する事があり、その結果施工不良につながる恐れがあります。